

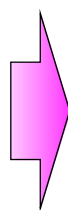
# すき取り物および表土ブロック移植による盛土法面の緑化工

すき取り物および表土ブロック移植による盛土法面の緑化工法は、建設工事により発生するすき取り物を盛土法面の緑化材料として利用する方法と、工事箇所周辺の森林の表土をブロック状に採取して盛土法面に移植して早期に森林を復元する方法です。

これらの方法は、どちらも施工後十分植物が生育し、法面のゆるみや変状をほとんど発生しないで法面を保護できる技術です。また、追肥や水分補給などの維持管理が不要です。

## すき取り物による盛土法面の緑化工

### ◆施工手順



### ◆適用条件

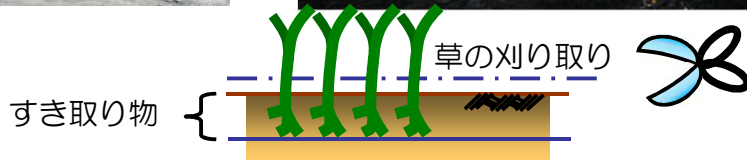
植物の種類 ⇒ **すべてOK**

施工時期 ⇒ **いつでもOK**

法面部 ⇒ **施工厚さ 10cm以上**

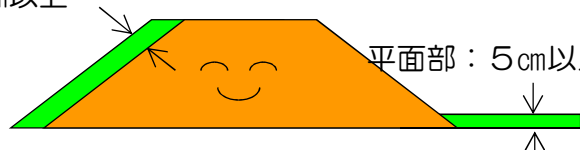
**法面勾配 1:1.5以上**

平面部 ⇒ **施工厚さ 5cm以上**



法面部：10cm以上

平面部：5cm以上



## 表土ブロック移植による盛土法面の緑化工 (NETIS HK-210001-A)

### ◆施工手順



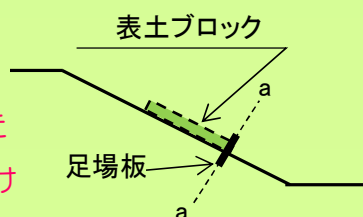
### ◆適用条件

表土ブロック採取地 ⇒ **工区内の切土**

植物の種類 ⇒ **すべてOK**

施工時期 ⇒ **表土ブロックをすき取った後できるだけ早期に貼り付け**

法勾配 ⇒ **1:1.8以上**



足場板押さえ

a-a断面